Panasonic

パーソナルコンピューター
取扱説明書

品番 CF-L2シリーズ

2000 XP

本書以外のマニュアル

操作マニュアル

画面で見るマニュアルです。本機をより活用するための拡張方法などについて説明しています。見かたについては17ページを参照してください。

もくじ

使用上のお願い / キーの組み合わせによる操作 / 状態表示ランプ / フラットパッドの操作 / スタンバイ・休止状態機能 / セキュリティ機能 / 省電力機能 / バッテリーパック / 画面切換ユーティリティ / USERボタン / マルチメディアポケット / CDドライブ / PCカード / SDメモリー / マルチメディアカード / RAM モジュール / プリンター / 外部ディスプレイ / USB機器 / モデム / 携帯電話・PHS 電話 / LAN 機能 / 無線 LAN 機能* / ネットセレクター機能 / セットアップユーティリティ / 技術情報 / DMIビューアー / エラーコードが表示されたら / 困ったときの Q&A

* 無線 LAN モジュール内蔵モデルのみ

上手に使って上手に節電

もくじ

お使いになる前に

ページ

操作の方法

困った時は

お使いになる前に

操作の方法

困った時は

保証書別添付

このたびはパナソニックパーソナルコンピューターをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、販売店からお受け取りください。

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や障害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物質的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

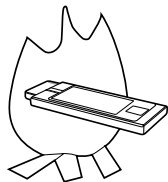
■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

⊘	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

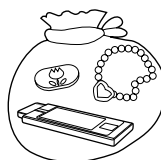
お使いになる前に

バッテリーパックに関する注意　⚠危険

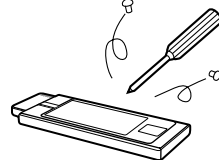
火中に投入したり加熱したりしない

禁止

発熱・発火・破裂の原因になります。

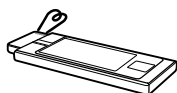
ネックレス、ヘアピンなどといっしょに持ち運んだり保管したりしない

禁止

発熱・発火・破裂の原因になります。

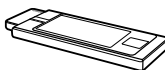
クギで刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしたりしない

禁止

発熱・発火・破裂の原因になります。

プラス(＋)とマイナス(－)を金属などで接触させない

禁止

発熱・発火・破裂の原因になります。

火のそばや炎天下など、高温の場所で充電・使用・放置をしない

禁止

発熱・発火・破裂の原因になります。

指定された方法で充電する

取扱説明書に記載された方法で充電しないと、発熱・発火・破裂の原因になります。

付属の充電式電池は、必ず本機で使用する

CF-L2 シリーズ専用の充電式電池です。本機以外に使用すると、発熱・発火・破裂の原因になります。

⚠警告

異常が起きたらすぐに電源プラグとバッテリーパックを抜く

電源プラグを抜く

•本体が破損した •本体内に異物が入った
•煙が出ている •異臭がする
•異常に熱い
などの異常状態のまま使用すると、火災•感電の原因になります。

● 異常が起きたら、すぐに電源スイッチを切って電源プラグとバッテリーパックを抜き、販売店にご相談ください。

電源コード・電源プラグ・ACアダプターを破損するようなことはしない

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない

禁止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

● コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

● 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100 V以外での使用はしない

禁止

たこ足配線等で定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

● 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

本機を改造しない また、本書に記載のない方法で分解しない

分解禁止

⚠警告
高電圧に注意
本機を分解・改造しない

[本体に表示した事項]

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。また、改造や間違った方法での分解は火災の原因にもなります。

本機の上に水などの入った容器や金属物を置かない

禁止

水などがこぼれたり、クリップ、コインなどの異物が中に入ったりすると、火災・感電の原因になります。

● 内部に異物が入った場合は、すぐに電源スイッチを切って電源プラグとバッテリーパックを抜き、販売店にご相談ください。

＜無線LANモジュール内蔵モデルのみ＞

心臓ペースメーカーの装着部位から22 cm以上離す

電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

自動ドア、火災報知器等の自動制御機器の近くで使用しない

禁止

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

安全上のご注意

必ずお守りください

⚠警告

＜無線LANモジュール内蔵モデルのみ＞

航空機内では電源を切る[*1]

運航の安全に支障をきたすおそれがあります。

病院内や医用電気機器のある場所では電源を切る[*1]（手術室、集中治療室、CCU[*2]等には持ち込まない）

本機からの電波が医用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

[*2] CCUとは、冠状動脈疾患監視病室の略称です。

満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があるので、電源を切る[*1]

電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

[*1] このような環境でコンピューター本体を使用したいときは、無線LANモジュールスイッチをオフにしてください。（☞『操作マニュアル』「無線LAN機能」）

⚠注意

不安定な場所に置かない

禁止

バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

湿気やほこりの多い場所に置かない

禁止

火災・感電の原因になることがあります。

本機の上に重いものを置かない

禁止

バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

1時間ごとに10～15分間の休憩をとる

長時間続けて使用すると、目や手などの健康に影響を及ぼすことがあります。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

禁止

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

炎天下の車中に長時間放置しない

禁止

高温により、キャビネットが変形したり、内部の部品が故障または劣化したりすることがあります。このような状態のまま使用すると、ショートや絶縁不良等により火災・感電につながることがあります。

モデムは日本国内の一般電話回線で使用する

会社、事務所等の内線電話回線（構内交換機）やデジタル公衆電話のデジタル側コンセントに接続したり、海外で使用したりすると、火災・感電の原因になることがあります。

電源プラグを接続したまま移動しない

禁止

電源コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

- 電源コードが傷ついた場合は、すぐに電源プラグを抜いて販売店にご相談ください。

電源コードはプラグ部分を持って抜く

電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

長時間直接触れて使用しない

禁止

本機やACアダプターの温度の高い部分に長時間、直接触れていると、低温やけど*の原因になります。

* 低温やけどについて
体温より少し高い温度のものでも、皮膚の同じ個所に、長時間、直接触れていると、低温やけどを起こすおそれがあります。

使用上のお願い

本取扱説明書の表記上の規則

本書で使用している共通の画面は、Windows 2000の画面です。

[スタート]-[検索]	:画面上の[スタート]をクリックした後、[検索]をクリックします。（内容によっては、ダブルクリックが必要な場合もあります。）
Enter	:キーボードのEnterキーを押します。
Fn + F5	:キーボードのFnキーを押しながら、F5キーを押します。
Windows 2000	:Microsoft® Windows® 2000 Professionalについての説明です。
Windows XP	:Microsoft® Windows® XP Professionalについての説明です。
無線LANモジュール内蔵モデル	:無線LANモジュールを内蔵しているモデルのことです。
☞ 操作マニュアル	:操作マニュアルは画面で見るマニュアルです。17ページに記載の方法で起動し、参照してください。

- 別売り商品については、最新のカタログまたはご相談窓口で確認してください。
- Administratorまたはコンピューターの管理者以外の権限でログオンした場合、実行できない機能があったり、画面の表示が本書と違ったりすることがあります。このような場合は、Administratorまたはコンピューターの管理者でログオンして操作してみてください。

周辺機器等の誤った使用をすると本機の性能劣化、温度上昇、故障の原因になることがあります。各周辺機器については操作マニュアルおよび周辺機器に付属の取扱説明書を参照してください。

- お客様の使用誤り、その他異常な条件下での使用により生じた損害、および本機の使用または使用不能から生ずる付随的な損害について、当社は一切責任を負いません。
- 本機は、医療機器、生命維持装置、航空交通管制機器、その他人命に関わる機器・装置・システムでの使用を意図しておりません。本機をこれらの機器・装置・システムなどに使用され生じた損害について、当社は一切責任を負いません。
- お客様または第三者が本機の操作を誤ったとき、静電気等のノイズの影響を受けたとき、または故障・修理のときなどに、本機に記憶または保存されたデータ等が変化・消失する恐れがあります。大切なデータおよびソフトウェアを思わぬトラブルから守るために、下記および次ページのことに注意してください。

ハードディスクのデータ保護

- コンピューターに衝撃を与えない。
  ハードディスクは衝撃に弱く、破損するとデータやアプリケーションソフトが使えなくなることがあります。コンピューター本体の取り扱いには十分注意してください。
- Windows*やアプリケーションソフトの動作中およびハードディスクドライブ（　）のランプが点灯中は、電源を切らない。
  ハードディスクのトラブルを避けるため、[スタート]メニューから操作を終了してください。（☞ 15ページ）
- 磁気を発生するもの（磁石、磁気ブレスレットなど）を近づけない。
  ハードディスクに保存されていたデータが消失する恐れがあります。
- ハードディスクに保存している必要なデータは、万一の場合(故障・不意なデータ更新・消失など)に備えて定期的にバックアップをとる。
  トラブル発生時の被害を最小限に抑えるための有効な方法としておすすめします。
- データの機密保護としてセキュリティ機能を活用する。（☞『操作マニュアル』「セキュリティ機能」「SDメモリー/マルチメディアカード」）

*正式名称 Windows 2000 :Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system です。本書では Windows または Windows 2000 と表記します。
Windows XP :Microsoft® Windows® XP Professional operating system です。本書では Windows または Windows XP と表記します。

ハードディスク保護

ハードディスク保護を有効に設定すると、ハードディスクを別のコンピューターに取り付けた際にハードディスクのデータを読み書きしようとしてもできないようになります。ハードディスクを元のコンピューターに戻すと、以前と同じようにハードディスクに読み書きできます。ただし、この場合、セットアップユーティリティの設定をハードディスクが取り外される前と全く同じ設定にしておいてください。（ハードディスク保護でデータを完全に保護できるという保証はありません。☞『操作マニュアル』「セキュリティ機能」）

使用上のお願い

コンピューターウィルス

最新のウィルスチェックプログラム(市販)を入手し、チェックを行う。
特に以下の場合、ウィルスチェックを行うことをおすすめします。
・コンピューターを起動するとき
・データを入手したとき
　フロッピーディスクなどの外部ディスクから、またネットワーク、インターネット、電子メールなどから入手したデータ(圧縮されている場合は、圧縮復元後のファイル)を使用または実行する前にウィルスチェックを行ってください。

周辺機器を使用する場合

コンピューター本体、周辺機器、ケーブル等の故障を防ぐため、次の点に注意してください。また、本書とあわせて、使用する周辺機器の取扱説明書をよくご覧ください。
・ コネクターの形状、向きに注意して、正しく接続する。
・ 接続しにくい場合は無理に差し込まず、もう一度コネクターの形状、向き等を確認する。
・ 固定用のネジがある場合は、ネジを締める。
・ ケーブルを取り付けたまま持ち運んだり、ケーブルを強く引っ張ったりしない。

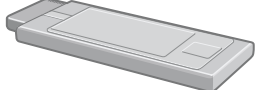
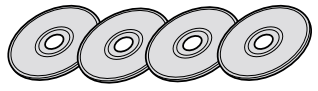
CD-R/RW ドライブについて

● CF-VCWL2AJS のうち、製造番号が 2DKSAxxxxx または 2EKSAxxxxx のドライブをお使いの場合
　別途、設定操作が必要になります。当社の担当者が対応させていただきますので、会社などのシステム管理者またはご相談窓口にご相談ください。
● CF-VCWL2JS をお使いの場合
　スタンバイ・休止状態からリジュームすると、正しく動作しないことがあります。
　その場合は、コンピューターを再起動してください。

無線 LAN で使用できるチャンネル＜無線 LAN モジュール内蔵モデルのみ＞

本機では、1 ～ 11 チャンネル* を使用します。使用するチャンネルを確認してください。
アクセスポイントの中には、工場出荷時の設定として、無線 LAN が使用するチャンネルを 12 ～ 14 チャンネルのいずれかとしているものがあります。このようなアクセスポイントをご利用になるには、アクセスポイントに付属の説明書をご覧になり、無線チャンネルを 1 ～ 11 チャンネルのいずれかに設定してください。
* ワイヤレス通信においては、使用する周波数帯域を分割し、それぞれの帯域によって異なる通信を行うことができます。チャンネルとは、その分割された個々の周波数帯域のことです。

本機を廃棄または譲渡する場合

本機を廃棄または譲渡する場合、ハードディスク内のデータの流失を防止するため、ハードディスク内のデータを完全に消去してください。Windows の通常の操作でデータを削除したりハードディスクを初期化しても、特殊なソフトウェアを使ってデータを読み取ることが可能です。データの完全消去は、専門業者に依頼（有償）するか、専用のソフトウェア（別売り）を利用して行ってください。
また、ハードディスク内のソフトウェアを削除せずに本機を譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合がありますので、ご注意ください。

はじめて使うとき

お買い上げになってからはじめて Windows **の操作を始めるまでの操作手順を説明します。**

1 付属品を確認する

本体（ウェイトセーバー内蔵）以外に以下の部品を付属しています。
万一、足りない場合、または購入したものと異なる場合は、お買い上げになった販売店にお確かめください。

AC アダプター .... 1 個	バッテリーパック .... 1 個
（品番：CF-AA1639A）　（電源コード1本付き）	（品番：CF-VZSU19）
印刷物	プロダクトリカバリー CD-ROM .... 4 枚
・取扱説明書（本書） ・Windows マニュアル ・保証書 （保証書は梱包箱に貼り付けられています。） ・ご愛用者登録カード兼保証期間延長依頼書	

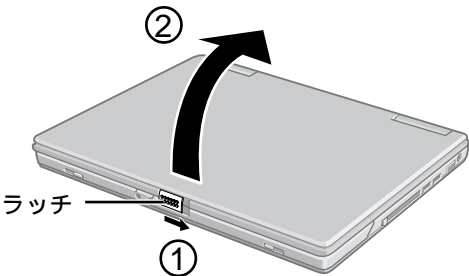
2 ソフトウェア使用許諾書(☞ 26ページ)に同意する

コンピューター本体の包装袋のシールをはがす前に、ソフトウェア使用許諾書の内容を必ず確認してください。

3 ディスプレイを開ける

①ラッチを矢印の方向にスライドする。
②ディスプレイを開ける。

お願い

ディスプレイを180度開けた状態で上から押さえないでください。

はじめて使うとき

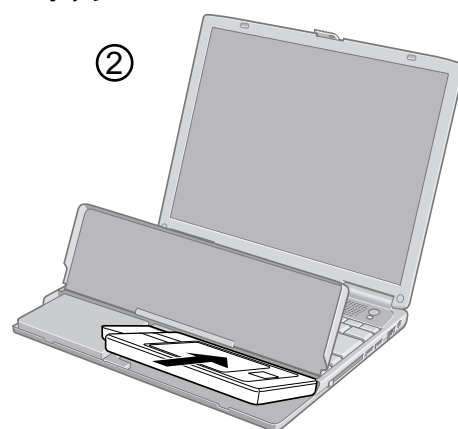
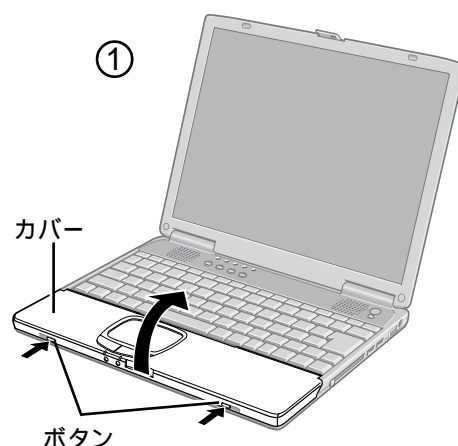
4 バッテリーパックを取り付ける

①左右のボタンを押しながらカバーを開ける。

②バッテリーパックのコネクター部を、コンピューター側のコネクター部分にあわせて矢印の方向に入れる。

③きちんとカバーを閉める。

お願い

- コネクターに確実に挿入してください。
- バッテリーパックのコネクター部に触れないようにしてください。コネクターが汚れると、接触が悪くなったり十分に充電できなかったりすることがあります。
- バッテリーパックを取り付けた後は、必ずカバーを閉めてください。カバーを開けた状態でカバーに無理な力を加えると、破損する恐れがあります。
- ご使用にあたってバッテリーパックについての安全上のご注意（☞ 2ページ）をよくお読みください。

5 ACアダプターを接続する

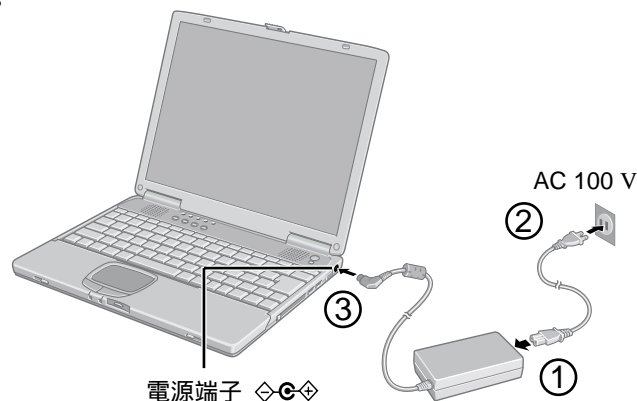
ACアダプターを接続すると、自動的に充電が始まります。

充電にかかる時間

電源オン時：約3.5時間
電源オフ時：約3時間

（コンピューターの動作状態により異なります。）

必ず指定の AC アダプターを使用する

指定以外の AC アダプターを使用すると、火災の原因になることがあります。

6 電源を入れる

電源スイッチを約1秒間押したままにし、電源表示ランプ（⏻）が点灯したことを確認してから手を離します。

お願い

- 電源スイッチを4秒以上押したままにしないでください。4秒以上押し続けると電源が切れます。
- 電源スイッチを連続して押さないでください。
- 電源を切った後、再び電源を入れるまで10秒以上あけてください。
- はじめて使うときは、本体にバッテリーパックとACアダプター以外の周辺機器は接続しないでください。

7 オペレーティングシステムを選ぶ

お願い

11 ページの手順 *9* までは、必ず AC アダプターを接続しておいてください。

本機には、Windows 2000 と Windows XP がプリインストールされています。以下の手順に従って、お使いになるオペレーティングシステムを選んでください。
お客様がご使用になれるのは、ここで選択したどちらか一方のオペレーティングシステムだけです。
選択しなかったオペレーティングシステムは、自動的にハードディスクから削除されます。

① オペレーティングシステムを選択するための条件画面で、1 を押す。
② オペレーティングシステムを選ぶ。
　Windows 2000 ：1 を押す。
　Windows XP ：2 を押す。
③ 確認メッセージで Y を押す。
　データのコピーなど、Windowsを起動するための準備が始まります。準備中、コンピューターが自動的に再起動します。

お願い

準備が完了するまでキーボードに触れないでください。キーボードに触れて、キャンセル確認のメッセージが表示された場合は、絶対にキャンセルしないでください。

④ 準備完了の画面で、何かキーを押す。
　コンピューターが自動的に再起動します。

8 Windowsをセットアップする

カーソル( )の移動やボタンなどの選択（クリック）には、フラットパッドを使います。（☞ 16ページ）

Windows 2000

お願い

「Windows 2000セットアップ ウィザードの開始」画面が表示されるまでしばらく時間がかかりますので、キーを押したり、フラットパッドに触れたりしないでください。

①「Windows 2000セットアップウィザードの開始」画面で[次へ]を選ぶ。
②「ライセンス契約」画面で使用許諾契約をよく読んで、「同意します」を選び、[次へ]を選ぶ。

お知らせ

「同意しません」を選んだ場合、Windowsのセットアップが中止されます。

③「地域」画面で正しい地域を設定して、[次へ]を選ぶ。（工場出荷時は日本に設定されています。）
④「ソフトウェアの個人用設定」画面で名前と組織名を入力して、[次へ]を選ぶ。（組織名は省略可能）
⑤「コンピュータ名とAdministratorのパスワード」画面でコンピューター名とパスワードを入力して、[次へ]を選ぶ。

お願い

- 設定したパスワードは必ず覚えておいてください。パスワードを忘れるとWindowsを使用することができません。
- ここでは、パスワードを省略し、後で設定することもできます。後で設定する場合は、Windows起動後、[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[ユーザーとパスワード]で行ってください。

⑥「日付と時刻の設定」画面で正しい日付と時刻を設定して[次へ]を選ぶ。
⑦「ネットワークの設定」画面で[標準設定]を選び、[次へ]を選ぶ。
　操作手順は一例です。使うネットワークシステムにより操作が異なります。詳しくは、接続サービス会社(プロバイダー)または会社などでのネットワーク担当のシステム管理者におたずねください。

⑧「ワークグループまたはドメイン名」画面で[このコンピュータはネットワーク上にないか、ドメインのないネットワークに接続している]を選び、[次へ]を選ぶ。
コンピューターが自動的に再起動します。
⑨「ネットワーク識別ウィザードの開始」画面で[次へ]を選ぶ。
⑩「このコンピュータのユーザー」画面で「ユーザーはこのコンピュータを使用するとき、ユーザー名とパスワードを入力する必要がある」を選び、[次へ]を選ぶ。
⑪「ネットワーク識別ウィザードの終了」画面で[完了]を選ぶ。
⑫手順⑤でパスワードを設定した場合、そのパスワードを入力して[OK]を選ぶ。

Windows XP

お願い

「Windows XPセットアップウィザードの開始」画面が表示されるまでしばらく時間がかかりますので、キーを押したり、フラットパッドに触れたりしないでください。

①「Windows XPセットアップウィザードの開始」画面で[次へ]を選ぶ。
②「ライセンス契約」画面で使用許諾契約をよく読んで、「同意します」を選び、[次へ]を選ぶ。

お知らせ

「同意しません」を選んだ場合、Windowsのセットアップが中止されます。

③「地域と言語のオプション」画面で正しい地域を設定して、[次へ]を選ぶ。（工場出荷時は日本に設定されています。）
④「ソフトウェアの個人用設定」画面で名前と組織名を入力して、[次へ]を選ぶ。（組織名は省略可能）
⑤「コンピュータ名とAdministratorのパスワード」画面で、コンピューター名とパスワードを入力して、[次へ]を選ぶ。（パスワードは省略可能）

お願い

- 設定したパスワードは必ず覚えておいてください。パスワードを忘れるとWindowsを使用することができません。
- ここでは、パスワードを省略し、後で設定することもできます。後で設定する場合は、Windows起動後、[スタート]-[コントロールパネル]-[ユーザーアカウント]で行ってください。

⑥「日付と時刻の設定」画面で正しい日付と時刻を設定して[次へ]を選ぶ。
⑦「ネットワークの設定」画面で[標準設定]を選び、[次へ]を選ぶ。
操作手順は一例です。使うネットワークシステムにより操作が異なります。詳しくは、接続サービス会社(プロバイダー)または会社などでのネットワーク担当のシステム管理者におたずねください。
⑧「ワークグループまたはドメイン名」画面で[このコンピュータはネットワーク上にないか、ドメインのないネットワークに接続している。]を選び、[次へ]を選ぶ。
コンピューターが自動的に再起動します。
⑨手順⑤でパスワードを設定した場合、そのパスワードを入力して→を選ぶ。

9 再インストール用のバックアップディスクを作成する

バックアップディスクは、作成する必要がない場合もあります。下記手順②のメニューを実行して、「バックアップディスクを作成する必要はありません」というメッセージが表示されたら、バックアップディスクを作成する必要はありません。このメッセージが表示されなかった場合は、以下の手順に従って、バックアップディスクを作成してください。

① 別売りのフロッピーディスクドライブを取り付け、書き込み可能な状態にした2HDフロッピーディスク（枚数は画面に従ってください）を準備する。

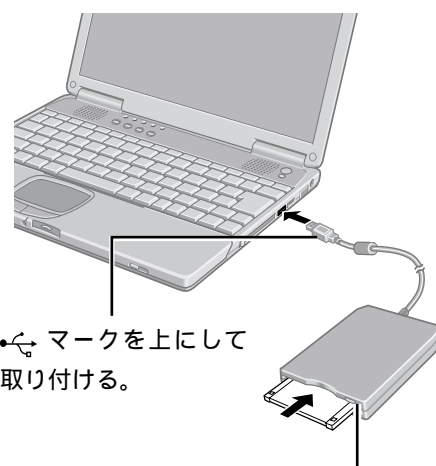
② Windows 2000

[スタート]-[プログラム]-[Panasonic]-[バックアップディスク作成]を選び、画面に従って操作する。

Windows XP

[スタート]-[すべてのプログラム]-[Panasonic]-[バックアップディスク作成]を選び、画面に従って操作する。

③ 作成したディスクにはラベルを貼り、名称（「ファーストエイドFD」など）を書く。

アップデートFD作成画面が表示されたら、画面に従ってディスクを作成してください。アップデート FD は、作成する必要がない場合もあります。

お願い

- 作成したバックアップディスクは、コンピューターに何らかのトラブルが発生し正常に動作しなくなった場合などに、再インストールする（ハードディスクの内容をお買い上げ時に近い状態に戻す）ときに使います。大切に保管してください。
  ここで説明しているバックアップは本機を工場出荷状態に戻すためのものです。個人で作成したファイルについては、お客様ご自身で必要に応じてバックアップを取ってください。
- バックアップディスクは、再インストールが必要になってからでは作成できないことがあります。
- バックアップディスクの作成中は、他のプログラムを動作させないでください。
- バックアップディスクの作成中に、「コピーするファイルが足りません。」というメッセージが表示された場合は、ご相談窓口にご相談ください。
- フロッピーディスクドライブのランプが点灯中にフロッピーディスクを取り出したり、フロッピーディスクドライブを取り外したり、電源を切ったり、スタンバイ・休止状態機能を使って終了したりしないでください（☞ 『操作マニュアル』「スタンバイ・休止状態機能」）。

お知らせ

Windows XP

スタートメニューおよびコントロールパネルの表示を以前のバージョンのWindowsのスタイル（クラシック表示）に変更したり、ユーザーのログオンやログオフの方法を変更したりすることができますが、本書ではWindows XPのデフォルト設定の手順や表示（クラシック表示を使用しない）で説明します。

はじめて使うとき

Windows XP について Windows XP

ユーザーのログオン・ログオフの方法を変更する

[スタート]-[コントロールパネル]-[ユーザーアカウント]-[ユーザーのログオンやログオフの方法を変更する]で「ようこそ画面を使用する」にチェックマークを付けている場合と付けていない場合では、起動時および終了時の操作が以下のように異なります。

「ようこそ画面を使用する」の設定	起動時の操作	終了時の操作
チェックを付けている場合	ユーザーの名前のリストが表示され、ログオンしたいユーザー名を選ぶ。	[スタート]-[終了オプション]-[電源を切る]を選ぶ。
チェックマークを付けていない場合	ユーザー名とパスワードを入力して[OK]を選ぶ。	[スタート]-[シャットダウン]-[シャットダウン]を選び、[OK]を選ぶ。

（SDカード設定で「Windowsのログオン時に使用する」を選んでいる場合は、ようこそ画面は使用できません。）

● 「ユーザーの簡易切り替えを使用する」
この設定にチェックマークを付けていると、複数のユーザーがコンピューターを所有している場合、ログオンし直さずに別のユーザーに切り換えることができます。「ようこそ画面を表示する」にチェックマークを付けていない場合やネットワークのドメインに参加している場合などは、この機能は使えません。また、アプリケーションソフトによっては、この機能を使うとコンピューターが正しく動作しない場合があります。（☞ 23ページ）
本書では、チェックマークを付けている場合の手順で説明します。

パスワードリセット機能について

Windowsのログオンパスワードを忘れてしまったときのために、現在のパスワードを解除して新しくパスワードを設定するパスワードリセット機能があります。この機能を使うには、以下の手順に従ってパスワードリセットディスクを作成しておいてください。

1 [コントロールパネル]-[ユーザーアカウント]を選び、「変更するアカウントを選びます」の中からログオンしているアカウントを選ぶ。

2 [関連した作業]の「パスワードを忘れないようにする」を選ぶ。以降、画面の指示に従ってパスワードリセットディスクを作成してください。
- 作成したディスクは大切に保管してください。
- パスワードリセットディスクで解除できるのは、アカウントごとのログオンパスワードです。セットアップユーティリティのパスワードを解除することはできません。

回復コンソールについて

回復コンソールをインストールしておくと、Windows XPが起動しなくなった場合などに、コマンドプロンプトを利用して CHKDISK などが実行できます。
以下の手順でインストールしてください。起動時にスタートアップオプションメニューとして、回復コンソールが選択できるようになります。

1 [スタート]-[ファイル名を指定して実行]を選び、「C:\Windows\i386\winnt32.exe /cmdcons」と入力して[OK]を選ぶ。
画面の指示に従って操作してください。

2 [スタート]-[ファイル名を指定して実行]を選び、「C:\util\msupdate\q308402\Q308402_WXP_SP1_X86_JPN.EXE」と入力して[OK]を選ぶ。
画面の指示に従って操作してください。

お知らせ

回復コンソールの概要については、「ヘルプとサポートセンター」を参照してください。
1 [スタート]-[ヘルプとサポート]を選ぶ。
2 [検索]に「回復コンソール」と入力し、→を選ぶ。

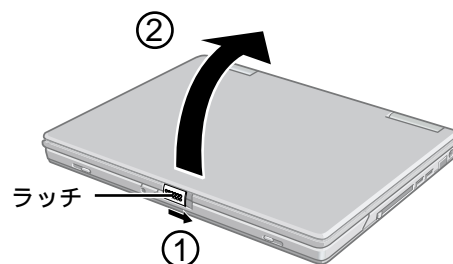
操作を始める／終わる

操作を始める

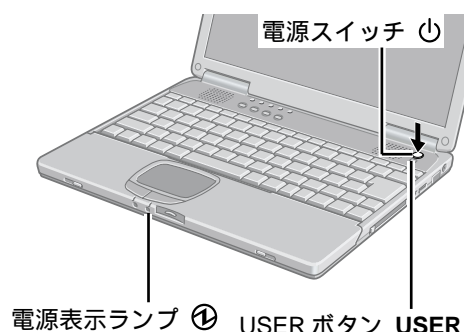
1 ディスプレイを開ける

①ラッチを矢印の方向にスライドする。
②ディスプレイを開ける。

お願い

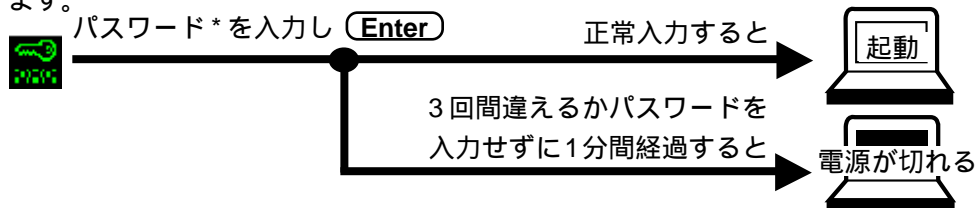
ディスプレイを180度開けた状態で上から押さえないでください。

2 電源を入れる

以下の2通りの方法があります。

・電源スイッチを約1秒間押したままにし、電源表示ランプ（①）が点灯したことを確認してから手を離します。
・USERボタンを押します。
Windows起動後、USERボタンに登録されているアプリケーションソフトが起動します。（工場出荷時、アプリケーションソフトは登録されていません。）
（☞『操作マニュアル』「USERボタン」）

お願い

● 起動中は、ポインターが砂時計（ ）から通常のもの（ ）に戻り、ハードディスク状態表示ランプが消えるまで、以下のことはしないでください。
・ACアダプターを抜き差しする。
・電源スイッチ、USERボタンを操作する。
・キーボード、フラットパッド（外部マウス）に触れる。
・ディスプレイを閉じる。
● 電源を切った後、再び電源を入れるまで10秒以上あけてください。
● 電源を入れても本体が起動しない場合は、CPUの温度が上がっている場合があります。CPUの温度が上がっていると、CPUの加熱を防止するための機能が自動的に働き、本体が起動しないようになっています。しばらくしてから再度電源を入れてください。それでも起動しない場合は、ご相談窓口にご相談ください。

●画面にが表示されたら . . .

本機のセキュリティのため、パスワード（☞『操作マニュアル』「セキュリティ機能」）が設定されています。

＊セットアップユーティリティで設定されているスーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードです。（Windowsのパスワードではありません。）

●操作していたアプリケーションソフトやファイルがすぐに表示されたら . . .

前回操作を終えたとき表示していた画面です。「スタンバイ」または「休止状態」と呼ばれる機能を使って操作を終わると、電源を入れたとき、すぐに操作を再開することができます。（☞『操作マニュアル』「スタンバイ・休止状態機能」）

3 Windows 2000

パスワードを入力する

ハードディスク状態表示ランプ（）が消えて10秒以上たってから、ユーザー名とパスワードを入力して[OK]を選びます。正しいユーザー名とパスワードを入力するまで操作できません。

Windows XP

ユーザーを選ぶ（複数のユーザーが設定されている場合のみ）

ハードディスク状態表示ランプ（）が消えて10秒以上たってから、ユーザーを選びます。
ここでの操作は、「ようこそ画面を使用する」の設定により異なります。

お知らせ

以下の場合は自動ログオンとなり、ユーザーを選ぶ画面は表示されません。
- ユーザーが一人だけ作成されており、パスワードが設定されていない。
- Guest アカウントが無効に設定されている。
- 「ようこそ画面を使用する」にチェックマークを付けている。

4 **操作をする**

各種アプリケーションソフトなどを起動し、操作を始めてください。

お知らせ

- お買い上げ時、省電力設定がされているため、操作やデバイスへのアクセスがない状態が一定時間続くと、ディスプレイの電源が切れ、画面の表示が消えます。
  この場合、フラットパッド、キーボードの操作を行うとディスプレイが元の状態に戻ります。
  アプリケーションソフトのインストール中であってもディスプレイの電源が切れることがあります。この場合、動作に影響のないキー（ Ctrl や Shift など）を押してください。
  コンピューターを放置しておくと、自動的にスタンバイ状態または休止状態になります（☞『操作マニュアル』「スタンバイ・休止状態機能」）。電源スイッチを押すと、スタンバイ状態または休止状態になる前の状態に戻ります。

Windows 2000
- 新規デバイスをインストールしたときや[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[アプリケーションの追加と削除]でWindowsのコンポーネントを追加したときに、CDを挿入するメッセージが表示される場合があります。[OK]を選び、コピー元の[D:]または[A:]の代わりに[c:\winnt\cdimage]と入力して[OK]を選んでください。
  （例：[D:\i386]の代わりに[c:\winnt\cdimage\i386]）

Windows XP
- 初めてユーザーアカウントを追加するときは「コンピューターの管理者」のアカウントのみ選択できます。ようこそ画面には追加したユーザーアカウントのみが表示され、「Administrator」のアカウントは表示されません。
- ユーザーの簡易切り替え機能を使って別のユーザーに切り換えると、画面の設定ができない場合があります。その場合は、簡易切り替え機能を使わずに、コンピューターの管理者でログオンして操作してください。

操作を終わる（電源を切る）

スタンバイまたは休止状態機能（☞『操作マニュアル』「スタンバイ・休止状態機能」）を使わず操作を終わります。

お知らせ

コンピューター本体にACアダプターを接続していないときはコンセント側を抜いておいてください。（ACアダプターをコンセントに接続しているだけで約1.5 Wの電力が消費されます。）

1 必要なデータを保存して、各種アプリケーションソフトを終了する

2 終了画面を表示する

Windows 2000 [スタート]-[シャットダウン]を選ぶ。
Windows XP [スタート]-[終了オプション]を選ぶ。

お願い

Windows XP
「ほかの人がこのコンピュータにログオンしています。Windowsをシャットダウンするとその人のデータが失われる可能性があります」というメッセージが表示された場合は、いったん[いいえ]を選び、すべてのユーザーのログオフを行ってから、終了操作をし直してください。

お知らせ

キーボードを使って終了画面を表示するには
⊞ を押し、↑↓キーでメニューを選びます。

3 終了を確認し、電源を切る

Windows 2000 [シャットダウン]を選び、[OK]を選ぶ。
Windows XP [電源を切る]を選ぶ。

自動的に電源が切れます。

●電源を切らずに、起動しなおしたい（再起動）

Windows 2000 [再起動]を選んで、[OK]を選ぶ。
Windows XP [再起動]を選ぶ。

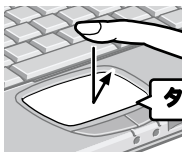
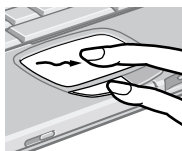
お願い

終了処理が行われている間は、以下のことをしないでください。
- ACアダプターを抜き差しする。
- 電源スイッチ、USERボタンを操作する。
- キーボード、フラットパッド（外部マウス）に触れる。
- ディスプレイを閉じる。

お知らせ

次に電源を入れるとき、すぐに操作を再開したい
「スタンバイ」と「休止状態」と呼ばれる機能があります。（☞『操作マニュアル』「スタンバイ・休止状態機能」）

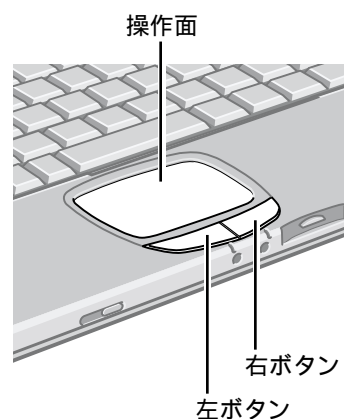
4 ラッチ部分を持ってディスプレイを閉じる

操作を始める／終わる

フラットパッドを使う（基本操作）

フラットパッドは、セットアップユーティリティの「メイン」メニューの「フラットパッド」が「有効」に設定されているときのみ動作します。（工場出荷時は「有効」に設定されています。）
詳細については、『操作マニュアル』「フラットパッドの操作」を参照してください。

お願い

フラットパッドは、指で操作するように設計されています。指以外で操作しないでください。

機能	フラットパッドの操作
カーソルを動かす	指先を操作面で動かします。
タップ／クリック	タップ または クリック
ダブルタップ／ダブルクリック	ダブルタップ または ダブルクリック
ドラッグ	1回タップしてから、すばやく指先で操作面をこする。 または ボタンを押しながら、指を移動させる。

フラットパッドの取り扱い

- 操作面にものを置いたり、つめなど先のとがったもの、硬いもの、鉛筆やボールペンのような跡の残るもので押さえたりしないでください。
- 油などでフラットパッドを汚さないでください。カーソルが正常に動かなくなります。
- **フラットパッドに汚れが付着した場合：**
  ガーゼなどの乾いた柔らかい布か水で薄めた台所用洗剤（中性）を浸してかたく絞った柔らかい布で汚れを取り除いてください。ベンジンやシンナー、消毒用アルコールは使わないでください。
  中性の台所用洗剤以外の洗剤（弱アルカリ性洗剤など）を使用すると、塗装がはげるなど、塗装面に影響を与えることがあります。

操作マニュアル

操作マニュアルは画面で見ることができます。プリンターが接続されていれば、印刷することもできます。周辺機器の拡張方法やセットアップユーティリティなど、知っていると便利な情報、本機をより活用するための機能について説明しています。

操作マニュアルを起動する

1 電源を入れる

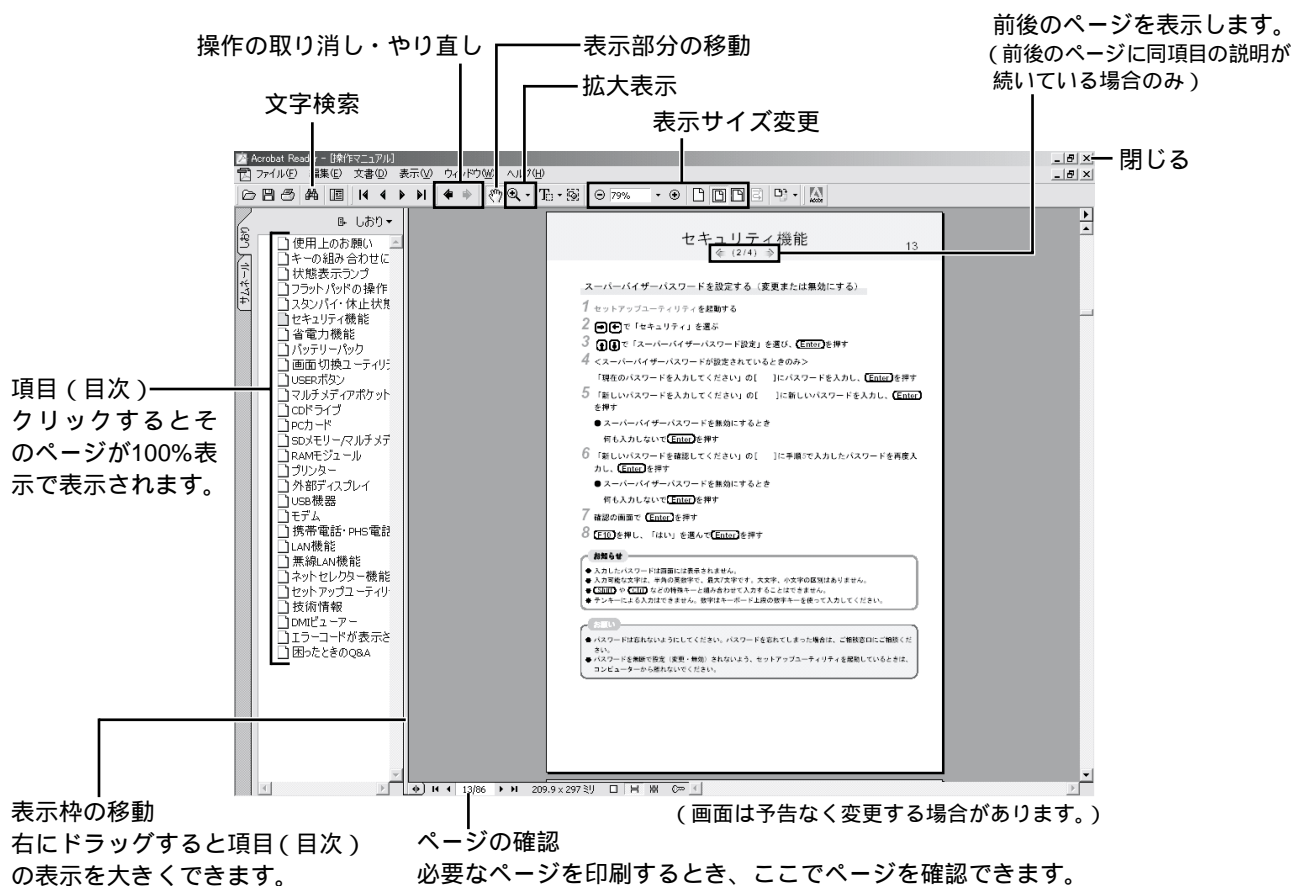
2 Windows 2000

[スタート]-[プログラム]-[Panasonic]-[オンラインマニュアル]-[操作マニュアル]を選ぶ

Windows XP

[スタート]-[すべてのプログラム]-[Panasonic]-[オンラインマニュアル]-[操作マニュアル]を選ぶ

はじめて操作マニュアルを起動したときは、Acrobat® Readerの「ソフトウェア使用許諾契約書」画面が表示されます。内容を確認の上、[同意する]を選んでください。

（画面は予告なく変更する場合があります。）

お知らせ

- 表示サイズによっては、イラストが見えにくい場合があります。この場合は表示を拡大してください。
- Acrobat® Readerの下部がタスクバーにかくれて見えないときは、ウィンドウを最大表示にしてください。
- プリンターに接続している場合は、印刷しておくことをおすすめします。ただし、プリンターによっては、イラストや画面サンプルがきれいに印刷できないことがあります。

Windows 2000

- Acrobat® Readerを最小化（タスクバーに格納）した状態でスタンバイまたは休止状態に入ると、リジュームしたとき、Acrobat® Readerを表示できない場合があります。コンピューターを再起動してください。

Windows XP

- ユーザーの簡易切り替え機能を使って別のユーザーに切り換えると、PDF ファイルが正しく印刷されない場合があります。その場合は、簡易切り替え機能を使わずに、コンピューターの管理者でログオンして操作してください。

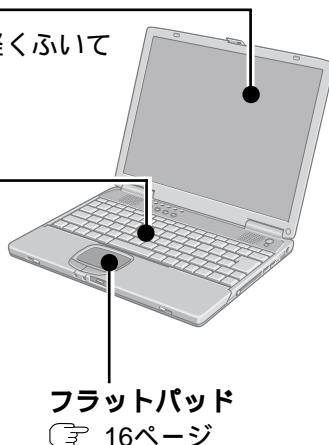
保管・持ち運び・お手入れ

使用・保管

- 適した場所
  - ・平らで落下のおそれがない場所
    コンピューターを立てて置かないでください。倒れると、本体に衝撃が加わり誤動作や故障の原因になります。
  - ・使用時の温度：5 ℃ 〜 35 ℃
    湿度：30 %RH 〜 80 %RH
    （結露なきこと）
    保管時の温度：-20 ℃ 〜 60 ℃
    湿度：30 %RH 〜 90 %RH
    （結露なきこと）
- 磁気を発生するもの（磁石・ブレスレットなど）の近くには置かないでください。

持ち運ぶとき

- 落としたり、机の角など硬い物にぶつけないよう注意してください。
- 電源を切ってから持ち運んでください。
- 外部装置やケーブル、本体から突き出たPCカード（右図）、SDメモリーカードやマルチメディアカードをすべて取り外してください。
- 予備のバッテリーパック(別売り)を用意しておくことをおすすめします。
- ディスプレイを開けたまま持ち運んだり、ディスプレイを持って持ち運ばないでください。ディスプレイを閉じるときは、ラッチ部分（☞ 7ページ）がきちんとかみ合っていることを確認してください。
- 航空機で持ち運ぶときは、破損等を避けるためコンピューターやディスクなどは、手荷物としてお持ちください。また航空機内の使用は、航空会社の指示に従ってください。
- データのバックアップをとり、バックアップしたデータも必要に応じて一緒に持ち運ぶことをおすすめします。
- ＜無線LANモジュール内蔵モデルのみ＞
  無線LANモジュールが本体から突き出ています（右図）。注意して持ち運んでください。「安全上のご注意」もあわせてお読みください。

お手入れ

お願い

- ベンジンやシンナー、消毒用アルコールなどは使わないでください。塗装がはげるなど、塗装面に影響を与える場合があります。また、市販のクリーナーや化粧品の中にも、塗装面に影響を与える成分が含まれている場合があります。
- 水や洗剤を直接かけたり、スプレーで噴きかけたりしないでください。液が内部に入ると、誤動作や故障の原因になります。

エラーコードが表示されたら

ここでは、ハードウェアの不良が発生した場合など、起動時に表示されるエラーコードとその原因・対処について説明します。

エラーコード・メッセージ	原 因・対 処
0211 **キーボードエラーです。**	**外部キーボードが動作していません。外部キーボードを取り外してください。**
0251 **システム**CMOS**のチェックサムが正しくありません。ーデフォルト値が設定されました。**	CMOS**データがアプリケーションソフトによって壊されたか、変更されました。** ● **セットアップユーティリティでいったんデフォルト設定にした後、再度、適切な値に設定し直してください。** ● **それでもエラーになる場合は、**CMOS**バックアップバッテリーが消耗している可能性がありますので、ご相談窓口にご相談ください。**
0271 Check date and time settings	**システムの日付と時刻が正しくありません。セットアップユーティリティで日付と時刻を正しく設定してください。**
0280 **起動を**3**回失敗しました。ーデフォルト値を使用して起動します。**	**電源を入れてから**OS**が起動するまでに、**3**回連続してシステムがシャットダウンされました。セットアップユーティリティでデフォルト設定にし、日付・時刻を合わせてください。正しく**OS**を起動すれば表示されることはありません。**

下記のエラーコードが表示された場合は、そのメッセージを記録してご相談窓口にご相談ください。

エラーコード・メッセージ	原 因
0200 **ハードディスクエラーです。**	**ハードディスクドライブまたはシステムボードの故障です。**
0212 **キーボードコントローラエラーです。**	**システムボードの故障です。**
0230 **システム**RAM**エラー。オフセットアドレス：**nnnn 0231 **シャドウ**RAM**エラー。オフセットアドレス：**nnnn 0232 **拡張**RAM**エラー。オフセットアドレス：**nnnn	**メモリーの故障です。**
0250 **システムのバッテリがありません。ーバッテリを交換して、コンピュータを再起動して下さい。**	CMOS**バックアップバッテリーが消耗しています。** **バッテリーの交換が必要です。ご相談窓口にご相談ください。**
0260 **システムタイマーエラーです。**	**システムボードの故障です。**
0270 **リアルタイムクロックエラーです。**	**システムボードの故障です。**
02D0 **システムキャッシュエラーです。ーキャッシュは使用できません。**	CPU**の故障です。**
02F5 DMA**のテストが異常終了しました。**	**システムボードの故障です。**

困ったときのQ&A

本機がうまく動かない場合にお読みください。操作マニュアルでも、さらに詳しい内容を紹介しています。また、アプリケーションソフトによる原因も考えられますので、各ソフトウェアのマニュアルも参照してください。
どうしても原因がわからない場合は、当社ご相談窓口にご相談ください。

● 電源を入れたとき

症状	対処
電源表示ランプが点灯しない	● ACアダプターまたは十分に充電されたバッテリーパックが、正しく取り付けられていますか？ ● ACアダプターとバッテリーパックを本体から取り外し、取り付け直してください。
[鍵アイコン]が表示された	パスワードを入力してください。パスワードを忘れてしまった場合は、ご相談窓口にご相談ください。
システム起動エラーが表示された	☞ 19ページの「エラーコードが表示されたら」を参照してください。
Windows の起動および動作が極端に遅い	● セットアップユーティリティを起動してください。 （☞ 『操作マニュアル』「セットアップユーティリティ」） F9 を押して、いったん工場出荷時の設定(パスワード設定を除く)に戻したあと、再度各種設定をしてください。 （動作は使用するアプリケーションソフトに依存することもあり、すべての動作が改善されるわけではありません。あらかじめご了承ください。） ● ストリーミング再生時等に動作が遅くなる場合は、色数を変更してみてください。
日付と時刻が正しく表示されない	● 次の項目を使って訂正してください。 Windows 2000 [コントロールパネル]-[日付と時刻] Windows XP [コントロールパネル]-[日付、時刻、地域と言語のオプション]-[日付と時刻] ● 正しく設定してもすぐに表示が違ってくる場合、日付と時刻の情報を保持しているクロックバッテリー（リチウム電池）の残量がない可能性があります。ご相談窓口にご相談ください。 ● LAN（ネットワーク）に接続している場合は、サーバーの日付／時刻を確認してください。 ● 西暦2100年以降は、日付と時刻が正しく認識されません。
スタンバイ・休止状態からリジュームしたとき、[鍵アイコン]が表示されない	セットアップユーティリティでパスワードを設定し、「起動時のパスワード」を「有効」に設定していても、スタンバイ・休止状態からリジュームしたときはセットアップユーティリティで設定したパスワード入力は要求されません。代わりに、Windowsのパスワード入力が必要となるように設定することができます。 Windows 2000 [コントロールパネル]-[ユーザーとパスワード]でユーザーのパスワードを設定し、[コントロールパネル]-[電源オプション]-[詳細]の「スタンバイ状態から回復するときにパスワードの入力を求める」にチェックマークを付けてください。 Windows XP [コントロールパネル]-[ユーザーアカウント]で変更するアカウントを選び、パスワードを設定し、[パフォーマンスとメンテナンス]-[電源オプション]-[詳細設定]の「スタンバイから回復するときにパスワードの入力を求める」にチェックマークを付けてください。
Windows 2000 「Invalid system disk Replace the disk, and then press any key.」と表示される Windows XP 「Remove disks or other Press any key to restart」 と表示される	● システムを起動できないフロッピーディスクが、フロッピーディスクドライブにセットされています。フロッピーディスクを取り出してから、何かキーを押してください。 ● フロッピーディスクがセットされていないのに左記メッセージが表示される場合、ハードディスクをフォーマットしたか、ハードディスクに何らかの問題が発生していることが考えられます。ご相談窓口にご相談ください。

困った時は

●電源を入れたとき（つづき）

Administrator またはコンピューターの管理者のパスワードを忘れた	Windows 2000 再インストールした後、Windowsをセットアップしてパスワードを設定し直してください。 Windows XP パスワードリセットディスク（☞ 12ページ）を作成していた場合は、パスワードの入力に失敗すると、メッセージが表示されます。 メッセージに従って、パスワードを再設定してください。 パスワードリセットディスクを作成していなかった場合は、再インストールした後、Windows をセットアップしてパスワードを設定し直してください。
Windows 2000 スタートメニューの一部しか表示されない	● 簡易メニュー表示機能（よく使用するメニューを優先的に表示し、その他のメニューを隠す機能）が働いています。 » を選ぶと、その下にあるメニューが表示されます。 ● 常にすべてのメニューが表示されるようにするには、[スタート] - [設定] - [タスクバーと[スタート]メニュー]を選び、「頻繁に利用するメニューを優先的に表示」のチェックマークを外してください。
その他の問題が起きる場合	● セットアップユーティリティを起動し、F9 を押して、いったん工場出荷時の設定(パスワード設定を除く)に戻してください。 ● 周辺機器を取り外して試してください。 ● Windows 2000 [マイコンピュータ]の[ローカルディスク（C:）]を右ボタンで選び、[プロパティ]を選び、[ツール] - [チェックする]を選んでください。 Windows XP [スタート] - [マイコンピュータ]の[ローカルディスク(C:)]を右ボタンで選び、[プロパティ]を選び、[ツール] - [チェックする]を選んでください。 ● Windows 2000 起動時、「Windows を起動しています」が表示されているときに F8 を押し、セーフモードで起動してエラーの内容を確認してください。 Windows XP 起動時、F8 を押し、セーフモードで起動してエラーの内容を確認してください。

●終了時

Windows が終了できない	● プロバイダーへの通信は正しく設定されていますか？設定が正しくない場合、Windows が終了しなかったり、再起動できなかったりします。 通信の設定については、プロバイダーから提供される説明書を参照してください。 ● LAN（☞ 『操作マニュアル』「LAN 機能」）は正しく設定されていますか？設定が正しくない場合、Windowsが終了しなかったり、再起動できなかったりします。 ● LANの設定については、ネットワーク担当のシステム管理者におたずねください。

●操作マニュアル

操作マニュアルを表示できない	Acrobat® Readerをアンインストールしませんでしたか？ アンインストールした場合は、[スタート] - [ファイル名を指定して実行]で、「c:\util\reader\ar500jpn.exe」を起動し、画面に従ってインストールしてください。その際、インストール先のフォルダーを変更しないでください。変更すると、スタートメニューから操作マニュアルなどを起動できません。

困ったときのQ&A

● **画面表示**

電源を入れたあと、画面に何も表示されない	● 外部ディスプレイの画面に表示されない場合： ・外部ディスプレイのケーブル類は正しく接続されていますか？ ・外部ディスプレイの電源は入っていますか？ ・外部ディスプレイの設定は正しいですか？ ● Fn ＋ F3 で表示先を切り換えてください。 ● 外部ディスプレイだけに表示してスタンバイまたは休止状態機能を使って操作を終わった場合、リジュームしたときに外部ディスプレイが接続されていないと、内部LCDには表示されないことがあります。この場合は、外部ディスプレイを接続するか、Fn ＋ F3 を押してください。
画面が消えた、または画面に何も表示されない	● 省電力機能によって､ディスプレイの表示が消えることがあります。いずれかのキーを押すと元に戻ります。その際、選択に使うキー（Enter、Space、Esc、Y、N や数字キーなど）は使わず、動作に影響のないキー（Ctrl や Shift など）を押してください。 ● 省電力機能によって、スタンバイ（電源表示ランプ緑色点滅）・休止状態（電源表示ランプ消灯）に入ることがあります。 その場合、電源スイッチを押すと元に戻ります。 ● 表示先が外部ディスプレイに設定されている可能性があります。 Fn ＋ F3 を押してディスプレイの表示先を切り換えてみてください。 ● Fn ＋ F3 を続けて押す場合は、画面の表示先が完全に切り換わったことを確認してから押してください。
残像が現れる	イメージが画面に焼き付き、残像となることがありますが、異常ではありません。別の画面が表示されると残像は消えます。
マウスカーソルが動かない	● 外部マウスを使用している場合は、外部マウスを正しく接続しなおしてください。 ● キーボードを操作してコンピューターを再起動してください。キーボードを使って再起動するには、⊞を押し、↑↓キーでメニューを選びます。キーボードで操作できない場合は、次ページの「ハングアップした」をご覧ください。
画面に緑、赤、青のドットが残るまたは正しい色が表示されないドットがある	カラー液晶ディスプレイは精度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯（赤・青・緑色）するものがあります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。（有効画素：99.998 %以上、画素欠け等：0.002 %以下）
画面が乱れる	解像度・色数を変更すると画面が乱れることがあります。コンピューターを再起動してください。
解像度・色数が変わる	Fn ＋ F3 を押して表示先を切り換えると、画面の解像度や色数が変わることがあります。再度設定してください。
外部ディスプレイに正しく表示されない	外部ディスプレイが省電力機能に対応していない場合､省電力のためにディスプレイの電源を切る状態に入ると、外部ディスプレイに正しく表示されなくなります。この場合は、外部ディスプレイの電源を切ってください。
外部ディスプレイと内部LCDの両方に表示しているとき、外部ディスプレイ側に正しく表示されない	● Fn ＋ F3 で表示先を切り換えてみてください。 ● Fn ＋ F3 で表示先を切り換えても表示されない場合は、以下の項目で表示先を変更して試してください。 Windows 2000 ：[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[Intel(R) Graphics Technology] Windows XP ：[スタート]-[コントロールパネル]-[デスクトップの表示とテーマ]-[画面]-[設定]-[詳細設定]-[Intel(R) Graphics Technology]-[グラフィックのプロパティ]
スクリーンセーバーを設定していると、リジューム時にエラーが発生する	スクリーンセーバーが起動しているときにコンピューターが自動的にスタンバイ状態に入ると、エラーが起こることがあります。その場合はスクリーンセーバーを停止するか、スクリーンセーバーの種類を変更してください。

●画面表示（つづき）

ウィンドウが消えた	起動したはずのウィンドウが見えなくなった場合､画面切換ユーティリティにより別の画面に切り換えられてしまったことも考えられます｡別の画面に切り換えて確認してください｡(☞ 操作マニュアル『画面切換ユーティリティ』)

●バッテリー状態表示ランプ

赤色に点灯している 使用中にビープ音が鳴り始めた	バッテリーの残量が少なくなっています。すぐにデータを保存し、終了してください。ACアダプターを接続するか、十分に充電されたバッテリーパックに交換してから電源を入れてください。
赤色に点滅している	● すぐにデータを保存し終了した後、ACアダプターとバッテリーパックを本体から取り外し、取り付け直してください。 ● それでも赤色に点滅する場合は、バッテリーパックまたは充電回路の故障が考えられます。ご相談窓口にご相談ください。
オレンジ色に点滅している	バッテリーパック内部の温度が充電可能な範囲外のため、充電できません。いったんACアダプターを外し、温度が充電可能な範囲内になるのを待ってから接続してください。

●アプリケーション

ハングアップした	● Ctrl + Alt + Delete を押してタスクマネージャーを起動し、応答のないアプリケーションソフトを終了してください。 ● 電源スイッチを4秒間押して電源を切った後、再度電源を入れ、アプリケーションソフトを起動してください。それでも正常に動作しない場合は、以下の項目でそのアプリケーションソフトを削除してから、アプリケーションソフトを再度インストールしてください。 Windows 2000 [コントロールパネル]-[アプリケーションの追加と削除] Windows XP [コントロールパネル]-[プログラムの追加と削除]

●ユーザーの簡易切り替え機能 Windows XP

アプリケーションソフトなどが正しく動作しない	ユーザーの簡易切り替え機能を使って別のユーザーに切り換えると､以下のような問題が起きる場合があります。 ・アプリケーションソフトが正しく動作しない(PDFファイルが正しく印刷されないなど) ・Fnとのキーの組み合わせによる操作ができない ・画面の設定ができない このような場合は､簡易切り替え機能を使わずに､コンピューターの管理者でログオンして操作してください。

●ディスクの操作 Windows XP

CD-ROMドライブまたはDVD-ROMドライブに交換すると、ディスク上のファイルが読み込めない	以下の手順で「ハードウェア変更のスキャン」を実行してください。 *1* [コントロールパネル]-[パフォーマンスとメンテナンス]-[システム]-[ハードウェア]-[デバイスマネージャ]を選ぶ。 *2* [DVD-ROM/CD-ROMドライブ]の下に表示されているドライブ（例：TEAC XXXXなど）を選び、メニューから[操作]-[削除]を選んで[OK]を選ぶ。 *3* メニューから[操作]-[ハードウェア変更のスキャン]を選ぶ。 （左記の問題が起きることが、マイクロソフト社より報告されています。）

再インストールのしかた

再インストールの前に

●準備する

- プロダクトリカバリーCD-ROM
- [バックアップディスク作成]で作成したファーストエイドFD、アップデートFD（☞ 11ページ 手順9でアップデートFDを作成した場合）
- 別売りのCDドライブ
  CD-ROMドライブ（品番：CF-VCDL2JS）、CD-R/RWドライブ（品番：CF-VCWL2JS、CF-VCWL2AJS）*、DVD-ROMドライブ（品番：CF-VDDL2JS）、USB接続のCDドライブ（パナソニック製　KXL-RW20AN、KXL-RW21AN、KXL-RW31AN、KXL-RW32AN、KXL-840AN）
  * 6ページの「CD-R/RWドライブについて」をご確認ください。
- 別売りのフロッピーディスクドライブ
  11ページ 手順9でバックアップディスクを作成する必要があった場合は、フロッピーディスクドライブ（品番：CF-VFDU03JS）が必要です。ドライブをUSBコネクターに接続してください。

●以下の点を確認する

- 必要なデータはバックアップをとっておいてください。
- 不要な周辺機器およびSDメモリー/マルチメディアカードは、すべて取り外してください。
- 必ず、ACアダプターを装着してください。
- ハードディスクを圧縮して使用している場合は、解除してください。

再インストールする

お願い

- 再インストールを実行すると、ハードディスクの内容は消去され、工場出荷時の状態に戻ります。
- ハードディスクのパーティションを変更されるお客様へ
  - 最初のパーティションにWindowsを再インストールするときは、あらかじめ複数のパーティションを作成しておいてください。
    複数のパーティションが作成されていない場合は、パーティションが作成されていない領域を含むすべての領域がCドライブとなります（お買い上げ時と同じ状態になります）。
  - Windows 95、Windows 98、Windows 98 Second Editionに標準添付されているFDISKは使用しないでください。パーティションが正しく設定されない場合があります。
    正しく設定できるFDISKは、以下のとおりです。
    - Windows Me標準添付のFDISK
    - Windows 98/Windows 98 Second Edition用 64 Gバイト ハードディスク対応のFDISK*

    *標準添付のFDISKに対する修正プログラムとして提供されています。詳しくはMicrosoft社のホームページを参照してください。

1. CDドライブをマルチメディアポケットまたはUSBコネクターに接続する。
2. コンピューターの電源を入れ、「Press F2 to enter SETUP」が表示されているときに、F2 を押し、セットアップユーティリティを起動する。
3. セットアップユーティリティの現在の設定内容を紙などにメモしておいてから、F9 を押す。
   確認メッセージが表示されたら、「はい」を選び、Enter を押す。
4. 「起動」メニューで↑、↓を押して「CDドライブ」を選び、F5 、F6 を押して、1番目になるように設定する。
5. 「プロダクトリカバリーCD-ROM1」をCDドライブにセットする。
6. F10 を押す。
   確認メッセージが表示されたら、「はい」を選び、Enter を押す。

困った時は

7 再インストールを実行するための条件画面で、同意する場合は (1) を押し、同意しない場合は (2) を押す。
(1) を押すとメニューが表示されます。
(2) を押すと再インストールが中断されます。

8 オペレーティングシステムを選択する画面で、Windows 2000を使う場合は (1) を押し、Windows XPを使う場合は (2) を押す。
必ず、初回起動時に選んだオペレーティングシステムを選んでください。

9 メニューから、どの操作を実行するかを選ぶ。
・ハードディスクの内容をパーティション設定も含めて、すべて工場出荷の状態にするには：
[(1)ハードディスク全体にWindowsを再インストールする]を選ぶ。
・最初のパーティション(通常はCドライブ)を工場出荷の状態にするには：
[(2)最初のパーティションにWindowsを再インストールする]を選ぶ。

この場合、最初のパーティションのサイズは約6Gバイト以上必要です。小さなパーティションには再インストールできません。

10 確認のメッセージが表示されたら (Y) を押す。
再インストールが始まります。
・途中で次のCDを挿入する指示が表示されたら、画面に従ってプロダクトリカバリーCD-ROMを順にCDドライブにセットし、[OK]を選んでください。

11 コピーなどが終了してWindowsのセットアップを始めるメッセージが表示されたら、プロダクトリカバリーCD-ROMを取り出し、電源スイッチを押してコンピューターの電源を切る。

12 CDドライブを取り外してコンピューターの電源を入れ、「Press F2 to enter SETUP」が表示されているときに (F2) を押してセットアップユーティリティを起動する。

13 (F9) を押す。
確認メッセージが表示されたら、「はい」を選び、(Enter) を押す。
・セットアップユーティリティの設定は、工場出荷時の設定に戻っています（パスワードを除く）。必要に応じて各種設定を変更してください。

14 (F10) を押す。
確認メッセージが表示されたら、「はい」を選び、(Enter) を押す。

15 Windowsのセットアップを行う。(☞9ページ)
<「アップデートFD」がある場合>
アップデートFD内のREADME.TXTを参照して操作してください。

困った時は

ソフトウェア使用許諾書

第１条　権利

お客様は、本ソフトウェア（コンピューター本体に内蔵のハードディスク、付属CD-ROMおよびマニュアルなどに記録または記載された情報のことをいいます）の使用権を得ることはできますが、著作権がお客様に移転するものではありません。

第２条　第三者の使用

お客様は、有償あるいは無償を問わず、本ソフトウェアおよびコピーしたものを第三者に譲渡あるいは使用させることはできません。

第３条　コピーの制限

本ソフトウェアのコピーは、保管（バックアップ）の目的のためだけに限定されます。

第４条　使用コンピューター

本ソフトウェアは、本コンピューター1台での使用とし、他のコンピューターで使用することはできません。

第５条　解析、変更または改造

本ソフトウェアの解析、変更または改造などを行わないでください。お客様の解析、変更または改造により、万一何らかの欠陥またはお客様に対する損害が生じたとしても弊社および販売店などは一切の保証・責任を負いません。

第６条　アフターサービス

お客様が使用中、本ソフトウェアに不具合が発生した場合、弊社窓口まで電話または文書でお問い合わせくだされば、お問い合わせの不具合に関して、弊社が知り得た内容の誤り（バグ）や使用方法の改良など必要な情報をお知らせいたします。

第７条　免責

本ソフトウェアに関する弊社および販売店などの責任は、上記第６条のみとさせていただきます。本ソフトウェアのご使用にあたり生じたお客様の損害および第三者からのお客様に対する請求については、弊社および販売店などはその責任を負いません。また製品に付属されている「保証書」はコンピューター本体（ハードウェア）の保証に限定したものです。

各部の名称と働き

バッテリー状態表示ランプ
『操作マニュアル』「バッテリーパック」

電源表示ランプ

電源オン時　：点灯
スタンバイ時　：点滅
電源オフ時と休止状態時：消灯

- Windows 2000
  音量は、タスクバー上の を選んで調整してください。
  Windows XP
  音量は、[コントロールパネル]-[サウンド、音声、およびオーディオデバイス]-[サウンドとオーディオデバイス]-[音量]を選んで調整してください。
  （音量は、キーの組み合わせで調整することもできます。（Fn + F5 または F6））
- スピーカーのオン / オフ: Fn + F4

各部の名称と働き

⚠注意

通風孔をふさがない

禁止

内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

LAN コネクター

☞『操作マニュアル』「LAN 機能」

外部ディスプレイコネクター

☞『操作マニュアル』「外部ディスプレイ」

盗難防止用ロック穴 LOCK

市販のセキュリティ用のケーブルを使用し、机などにつないで盗難を防止します。接続のしかたはケーブルに付属の取扱説明書をご覧ください。

外部キーボード／マウスコネクター

IBM PS/2タイプの外部キーボードまたはマウスを接続します。

通風孔

無線LANモジュール
<無線LANモジュール内蔵モデルのみ>

☞『操作マニュアル』「無線LAN機能」

マルチメディアポケット

☞『操作マニュアル』「マルチメディアポケット」

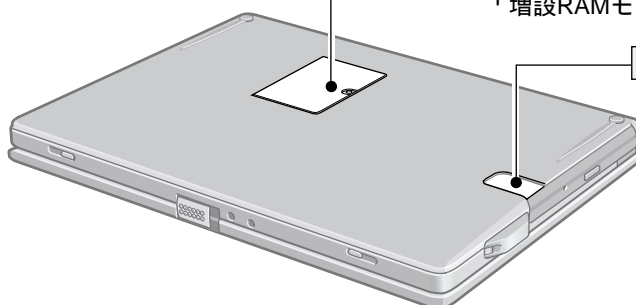
ワイヤレスコムポート

☞『操作マニュアル』「携帯電話・PHS 電話」

シリアルコネクター

シリアルマウスやモデムなどの通信機器を接続します。

パラレルコネクター

☞『操作マニュアル』「プリンター」

仕様 日本国内専用

● 本体仕様

本製品（付属品を含む）は日本国内仕様であり、海外の規格などには準拠しておりません。

機種名			CF-L2N8CAQS	CF-L2N8WAQS	CF-L2T8CAQS
CPU			Intel® Speed Step™ テクノロジ対応 低電圧版 モバイル Pentium® IIIプロセッサ-M 866 MHz		モバイルIntel® Celeron™ 低電圧版 プロセッサ 733 MHz
メモリー	キャッシュ	L1	32 Kバイト		
		L2	512 Kバイト		256 Kバイト
搭載メモリー（拡張可能メモリー）			128 Mバイト（最大384 Mバイト）		
ビデオメモリー			最大32 Mバイト（メインメモリーと共有）*1		
LCD	タイプ		13.3型TFTカラー液晶		
	解像度	（表示色数）	1024 × 768ドット（256色/65536色/1600万色）*2		
外部ディスプレイ			1280×1024/1024×768/800×600/640×480ドット (4種のうちいずれの解像度でも256色/65536色/1600万色)*3		
ハードディスクドライブ			約30 Gバイト*4		約20 Gバイト*4
キーボード			OADG準拠、Windowsキーボード（86キー）		
スロット	PCカードスロット		Type I(Type II)×1スロット内蔵 許容電流 3.3 V：400 mA、5 V：400 mA		
	増設RAMスロット		1スロット(144ピン、3.3 V対応、SDRAM) 133 MHz*5		
	SDメモリーカードスロット		SDメモリーカード/マルチメディアカード		
インターフェース	パラレルコネクター		ECP対応Dsub 25ピン×1		
	シリアルコネクター		RS232C Dsub 9ピン×1		
	外部ディスプレイコネクター		アナログRGBミニDsub 15ピン		
	マイク入力端子		モノラルミニジャックM3（コンデンサーマイクを使用のこと）		
	オーディオ出力端子		ステレオミニジャックM3		
	外部キーボード/マウスコネクター		PS/2 タイプ　ミニDIN 6ピン×1		
	USBコネクター		Universal Serial Bus準拠4 ピン×2		
	モデムコネクター		本体内蔵（RJ-11） DATA：56 kbps（V.90 & K56flex） FAX：14.4 kbps		
	LANコネクター		本体内蔵（RJ-45） 100BASE-TX/10BASE-T		
	ワイヤレスコムポート		18ピン（携帯電話/PHS電話接続用）		
	無線LANモジュール		-	内蔵	-
ポインティングデバイス			フラットパッド		
導入済みソフトウェア			Microsoft® Windows® 2000 Professional with Service Pack2*6 Microsoft® Windows® XP Professional*6 (NTFSファイルシステム) Microsoft® Windows® MediaPlayer 7.0*7 Microsoft® Internet Explorer 5.5 Service Pack2*7 Security Rollup Package 1*7		
			DMIビューアー、USERボタンモニター、画面切換ユーティリティ、ネットセレクター、SDユーティリティ、電波状況モニターII、Adobe® Acrobat® Reader 5.0J、インテル® Speed Step™ テクノロジアプレット(CF-L2Nシリーズのみ)*7、無線LAN切換ユーティリティ*8、ORiNOCOクライアントマネージャ*7*8、WinRoute*7*8		
サウンド機能			PCM音源（16ビットステレオ）、ステレオスピーカー搭載		
消費電力*9			最大 約60 W、(社)電子情報技術産業協会 家電・汎用品高調波抑制対策ガイドライン実行計画書に基づく定格入力電力値：36 W		

*1 コンピューターの動作状況により、メインメモリーの一部が自動的に割り当てられます。サイズを設定しておくことはできません。
メモリー増設時には最大48 Mバイトになります。

*2 ディザリング機能を使用して約1600万色表示を実現しています。 Windows XP ：640×480ドット、256色には対応していません。

*3 外部ディスプレイの仕様により異なります。 Windows XP ：640×480ドット、256色には対応していません。

*4 1 Gバイト=10^9 バイトで端数を省略しています。

*5 RAMモジュールを増設する際、133 MHz対応であることをご確認ください。

*6
- 本機には、Windows 2000とWindows XPをセットアップするためのユーティリティがプリインストールされています。
- 初回起動時、お使いになるオペレーティングシステムを選択することができます。
- 選択しなかったオペレーティングシステムは、自動的にハードディスクから削除されます。
- 選択しなかったオペレーティングシステムをお使いになるには、そのオペレーティングシステムのパッケージをあらためて購入していただく必要があります。

*7 Windows 2000のみ

*8 無線LANモジュール内蔵モデルのみ

*9 電源が切れていてバッテリーが満充電や充電していないときは約1.5 W
「LAN Wake Up機能」が「有効」に設定されているときは約3.0 W

仕様 日本国内専用

● 本体仕様

機種名	CF-L2N8CAQS	CF-L2N8WAQS	CF-L2T8CAQS
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	297 mm×25.6(前部)/29.7(後部) mm×238.5 mm （突起部を除く）		
質量	約1.7 kg		
使用環境条件	温度：5 ℃〜35 ℃ 湿度：30 %RH〜80 %RH（結露なきこと）		

● 付属品仕様

AC アダプター	入力	AC 100 V 〜 240 V*1、50 Hz/60 Hz
	出力	DC 15.6 V、3.85 A
	電源コード	125 V 対応
バッテリーパック	仕様	11.1 V(Li-ion)、3.6 Ah
	駆動時間	内蔵バッテリーパックのみ：約 4時間*2 内蔵バッテリーパック＋拡張バッテリーパック：約 8時間*2（CF-L2Nシリーズの場合）

*1 本製品は一般家庭用の電源コードを使用するため、AC100 Vのコンセントに接続して使用してください。(☞ 3ページ)
*2 JEITAバッテリー動作時間測定法(Ver. 1.0)による駆動時間

・本書の内容に関しましては、事前に予告なしに変更することがあります。
・本書の内容の一部またはすべてを無断転載することを禁止します。
・落丁、乱丁はお取り替えします。
・本書のサンプルで使われている氏名、住所などは架空のものです。
・本書のイラストや画面は一部実際と異なる場合があります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

・ 本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対して不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。
・ 漏洩電流について、この装置は、社団法人　電子情報技術産業協会のパソコン業界基準(PC-11-1988)に適合しております。

＜無線 LAN モジュール内蔵モデルのみ＞

日本国内で無線 LAN モジュールをお使いになる場合のお願い
この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。
1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、ご相談窓口にご連絡いただき、混信回避のための処置等（たとえばパーティションの設置など）についてご相談ください。
3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときには、ご相談窓口にお問い合わせください。

2. 4D S4 この機器が、2.4 GHz 周波数帯（2400 から 2483.5 MHz）を使用する直接拡散（DS）方式の無線装置で、干渉距離が約 40 m であることを意味します。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。
転居や贈答品などでお困りの場合は…
・「パナソニックパソコン お客様ご相談センター」にご相談ください。

■保証書（別添付）
必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店名などの記入をお確かめのうえ受け取り、よくお読みのあと、保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体１年間
[消耗品(バッテリーパック)を除く]

■補修用性能部品の保有期間
当社は、このパーソナルコンピューターの補修用性能部品を、製造打ち切り後6年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理を依頼されるとき
『困ったときのQ&A』にしたがってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は
保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

●保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

●修理料金の仕組み
修理料金は、技術料、部品代、出張料などで構成されています。
技術料は、診断・故障個所の修理および部品の交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代は、修理に使用した部品および補助材料費です。
出張料は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

■海外での使用について
本製品は日本国内仕様であり、海外の規格などには準拠しておりません。海外での使用について、当社では一切責任を負いかねます。
また、当社では本製品に関する海外でのアフターサービスおよび消耗品、別売品の供給は行っておりません。
This product cannot be used in foreign country as designed for Japan only.

ご相談窓口のご案内

パーソナルコンピューターのパナソニックブランド製品についての技術的なご質問・お取り扱い方法等ご不明な点がありましたら、品番をご確認のうえ、下記のご相談窓口にご相談ください。

修理に関するご相談

サポートデスク

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-008756（パナコム）
呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
受付時間　月～金（祝祭日を除く）
9時～17時30分

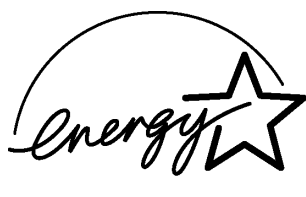
商品についてのお問い合わせは

パナソニックパソコンお客様ご相談センター

電　話　フリーダイヤル 0120-873029（パナソニック）
ＦＡＸ　(0726)24-7717
365日／受付9時～20時
（パソコン製品の使い方や技術的なご質問も承っております。）

2002年6月1日現在

この取扱説明書は、再生紙を使用しています。

Panasonic パーソナルコンピューター CF-L2シリーズ 取扱説明書

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピューターをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピューター、ディスプレイ、プリンター、ファクシミリおよび複写機などのオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

便利メモ おぼえのため記入されると便利です。	お買い上げ日	年　月　日	品 番*	
	販売店名	☎(　　)　－	お近くの当社 ご相談センター ☎(　　)　－	

* 保証書に記載されている品番(例:CF-L2N8CAQS)を記入してください。

松下電器産業株式会社 ITプロダクツ事業部
〒570-0021 大阪府守口市八雲東町一丁目１０番１２号

FJ0502-1082
DFQM5504YA